

福島県
書道連盟

会報

第30号

令和5年3月31日発行

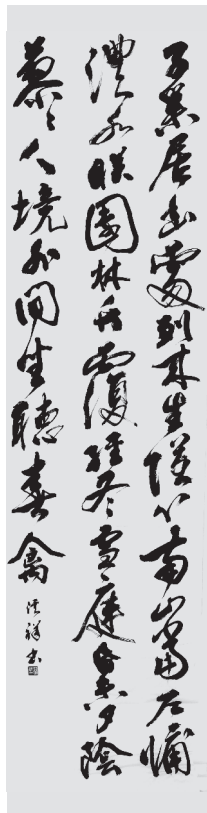
福島県書道連盟
広報部

本部〒960-1101
福島市大森字鶴巻67-6
電話 (024) 539-7548

令和四年度 第四十六回福島県書道連盟展

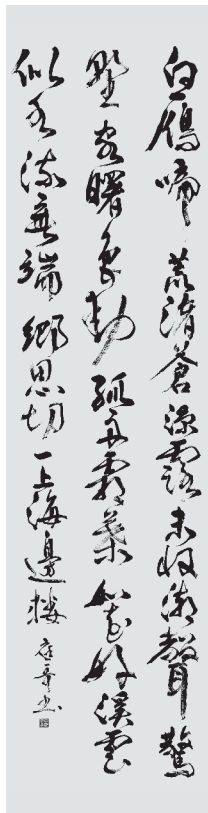
「紙上展」

【一般の部】



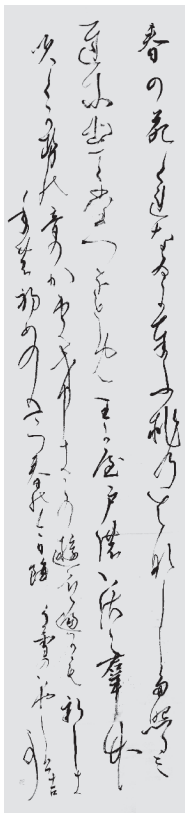
蘇氏別業 205×53cm

福島県書連大賞
遠藤 溪 祥 (田村市)



白鴈啼荒渚 200×52cm

福島県書連大賞
中村 庭 哥 (福島市)



大伴家持の歌三首 228×53cm

福島県知事賞
佐藤 香 月 (伊達市)



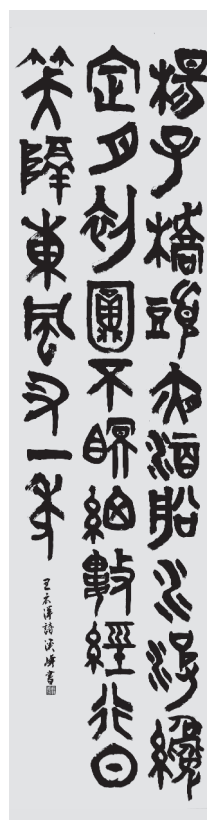
春潮帯雨晩 205×53cm

福島市教育委員会教育長賞
須田 愛 泉 (福島市)



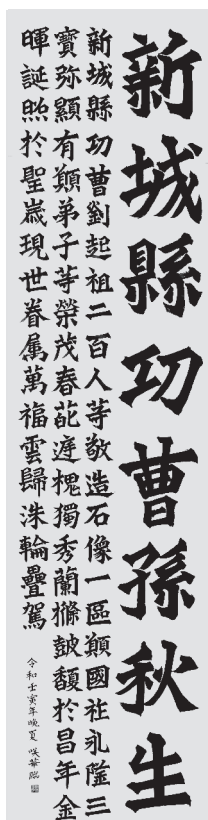
落日 200×53cm

福島市長賞
阿部 大 河 (小野町)



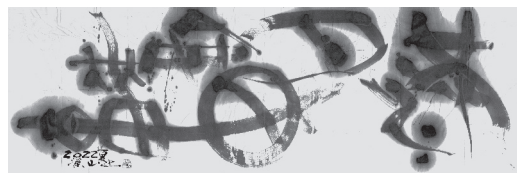
汪広洋詩 205×53cm

福島県文化センター館長賞
藤井 溪 峰 (小野町)



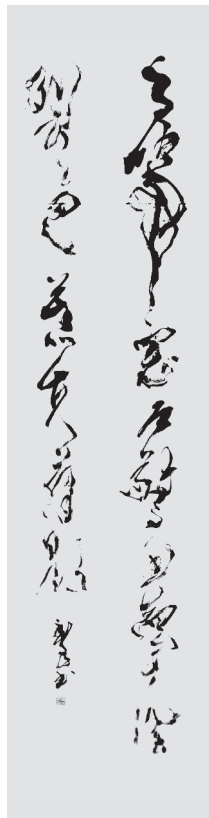
臨 孫秋生劉起祖等造像記 234×53cm

福島県書道連盟賞
飯沼 咲 華 (川俣町)



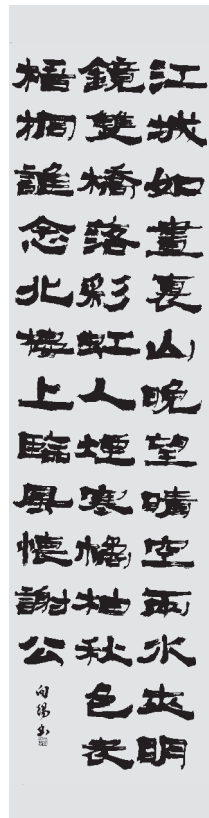
満月輪 60×180cm

読売新聞東京本社福島支局賞
神永溪山(塙町)



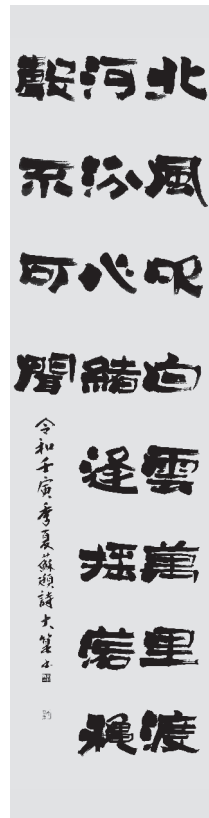
鳥啼窓戸驚 205×53cm

朝日新聞福島総局賞
酒井幽泉(只見町)



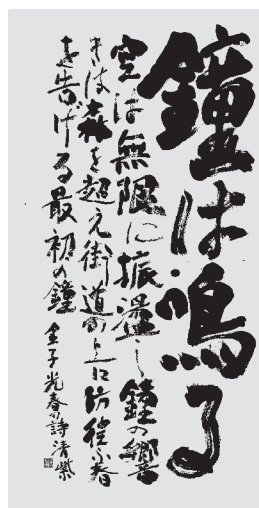
李白詩 205×53cm

福島民友新聞社賞
藤井向陽(小野町)



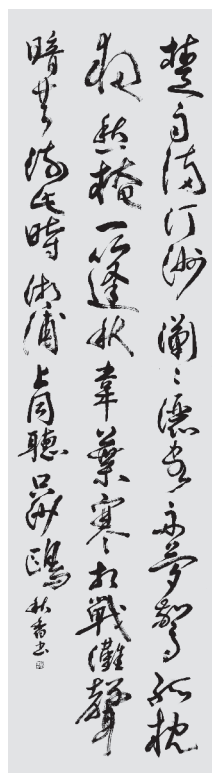
蘇頌詩 205×53cm

福島民報社賞
西牧大篁(小野町)



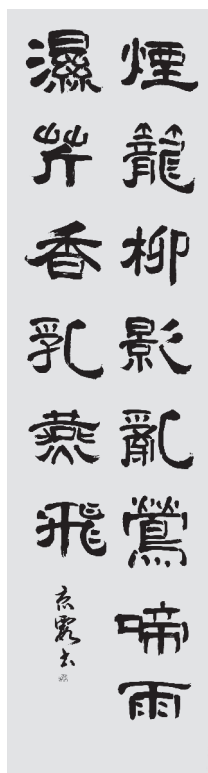
鐘は鳴る 136×70cm

福島中央テレビ賞
佐藤清紫(福島市)



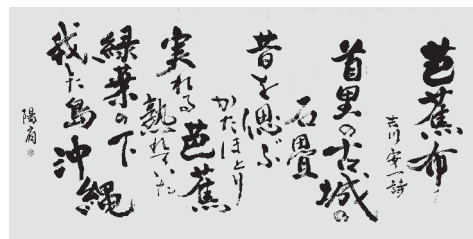
楚雨滿汀洲 200×53cm

福島テレビ賞
阿部秋香(福島市)



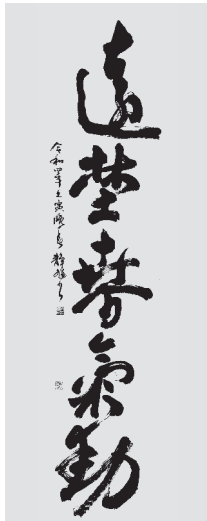
煙籠柳影 205×53cm

NHK福島放送局賞
小板橋京霞(会津若松市)



芭蕉布 70×136cm

毎日新聞福島支局賞
佐藤陽扇(会津若松市)



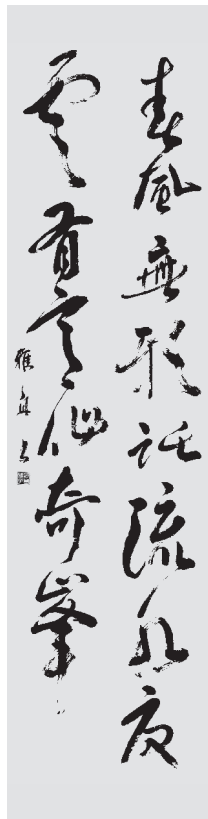
遠塾春氣動 203×53cm

ふくしま FM 賞
波呂 静 雄 (福島市)

無道人之短無説之長故人情多念受施慎
勿忘其譽不足恭惟人為細細心而後動誘
議何傷無使名遠實守愚聖所藏在涅貫不
清曠穢内含光采弱生之徒老氏戒剛彊行
鄙夫走趨二故難章慎言辭飲食知足勝不祥
行之苟有怪久自芬芳

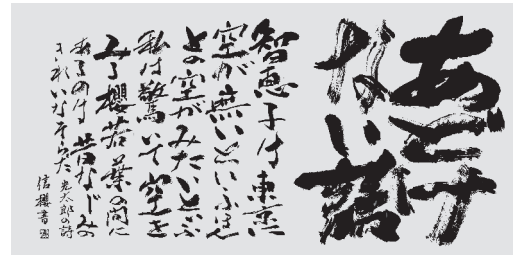
崔子玉座右銘 136×70cm

ラジオ福島賞
邊見 瑞 秋 (白河市)



書譜 200×53cm

テレビユー福島賞
阿 曾 雅 舟 (川俣町)



あどけない話 70×136cm

福島放送賞
佐 藤 信 櫻 (川俣町)

福島県知事賞を受賞して

佐 藤 香 月
(伊達市)

今回も仮名で出品致しました。筆を走らせながら、仮名に思いを馳せました。言葉は人と人とを結びます。その言葉を文字にすると、より深く、言葉は人の心に刻まれます。最初は万葉仮名(漢字)で和歌を詠み、相手に心を伝えていた先人が、自分の国独自の言葉を熱望するようになったことは、とても領けます。中国からの漢字の画数をぎりぎりに省略し、簡潔な曲線で落下的美を醸し出す仮名をついに創り上げた先人。その素晴らしい偉業に驚愕し、敬意を表さずにはおれません。そして『古今和歌集』に正式な文字として使われることで公的な場を獲得していった、というのです。

仮名の生い立ちを知れば知るほど、仮名の奥深さを感じます。先人の足跡を噛みしめながら、仮名の啓蒙に継続して指導尽力なさっている精堂会長にお習いして、邁進して行きたいと思っております。

諸先生方、ご指導よろしくお願い致します。今年の干支、癸卯キボウを希望にして胸膨らませ、県書連に栄あれ。

福島県書連大賞を受賞して

中 村 庭 哥
(福島市)

この度は、第四十六回福島県書道連盟展に於きまして、県書道連盟大賞をいただき、誠にありがとうございます。これも偏に、菅野精堂会長をはじめ、県書道連盟の諸先生方、そしてご指導いただいている菅野泰洲先生、曙光先生のお力添えと深く感謝申し上げます。

約三十年前、義母の筆を持つ姿に感銘を受けまして、泰洲先生、曙光先生の下でご指導を受けるようになり今日に至っております。

三年前には病気を患い、一時は筆を持てないのでは、と思いました。そんな時、教室の皆さんが連盟展の作品づくりに取り組んでいる様子を見て、もう一度書いてみたいと思うようになりました。どうか泰洲先生のオーケーが出た時には、気持ちよく眠りに就けたことが思い出されます。

これからも、家族の支えを受け、教室の仲間と共に書に向き合っていけたらと思います。今後共、諸先生方のご指導ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

福島県書道連大賞を受賞して

遠 藤 溪 祥

(田村市)

この度は、第四十六回福島県書道連盟展において「福島県書道連大賞」をいただき誠にありがとうございます。

ご推挙くださいました菅野精堂会長はじめ諸先生方に厚く御礼申し上げます。

また、阿部大溪先生並びに阿部大河先生には熱心なご指導を賜り深く感謝申し上げます。

書歴二十数年、今振り返りますと書道を習い始めの頃、夢中で筆を取っていたことを懐かしく思い出します。書道を通して多くの仲間と楽しく過ごさせていただいたことは、今では私の掛け替えのない財産となっています。まだまだ未熟ではございますが、感謝の気持ちを忘れず励んでいきたいと思えます。

結びに福島県書道連盟の益々のご発展と同連盟会員皆様方のご健筆をお祈り申し上げます。今後とも変わらぬご指導を賜りますようよろしくお願いいたします。

最優秀団体賞「文部科学大臣賞」を受賞して

太陽書道教室

神 永 溪 山

(東白川郡埴町)

「信じ 希望し 時を待つ」

この度は文部科学大臣賞をいただきたいへん光栄に思っております。教室を始めて七年になり、多くの子どもたちと出会うことができました。子どもの中には、表情が硬くなかなか自分の思いを伝えられない子、上達に時間のかかる子がいいます。そんな時、書くことが嫌にならないように細心の注意を払います。作品の良い所を褒め、指導するのは一か所です。一度にたくさん指導しても上達しません。繰り返して丁寧に指導します。そんな子も、作品が良くなると、明るくなり笑顔が増えてきます。自分に自信がついたのでしよう。その自分に対する自信は生活全般に良い影響となって現れているに違いありません。今はパソコンもあり毛筆がうまくなくても生活に影響はありません。しかし、書道を通して子どもの成長に出会うことができるのは、この上ない喜びです。

これから子どもたちの力を信じ、上達することを希望し、良い作品ができるその時を待っていようと思います。感謝をしながら。

最優秀団体賞「県書道連盟大賞」を受賞して

後藤教室

後 藤 翠 春

(須賀川市)

此の度は、大変栄えある「県書道連盟大賞」をいただきまして、心より感謝申し上げます。

県書道連盟展に出品させていただきましたのは今回で六回目となりますが、当初は何一つ分からないまま、作品を提出させていただきました。回を重ねるとに自然と成人部、生徒児童の中にも例年の行事の一つとして浸透してまいりました。

成人の方でとてもこの日を楽しみにしている方がおります。自分の字はさっておき、作品展の作品をご夫婦で見ると喜びを味わっているとのこと。他人の作品を目の当たりに見て、勉強になり参考になり七十歳を前に、さらに前へ進めそうと言ってくれるその一言に私も元気を貰っています。三才児から高齢の方まで、幅広く教室は賑わっておりますが、いろんな方々の作品を学べる力を持つてほしいと願っております。その為にも、毎年楽しみにして下さっているご夫婦に感謝と共に、この先もこの様に思ってくれる人が一人でも増えてくれることを望んでおります。

最優秀団体賞「福島市長賞」を受賞して

書道研究会 大師塾

会長 郡 司 聖 峰

(田村郡小野町)

連盟に加入させていただいてから、記念すべき十回目の「最優秀団体賞」を拝戴し、大きな喜びとともに、身の引き締まる思いです。ご推挙いただきました菅野精堂会長をはじめ同連盟の先生方に厚く御礼申し上げます。また、本会主宰阿部大溪先生並びに阿部大河先生の熱心なご指導の賜と深く感謝申し上げます。

本賞は、一人で受賞できるものではなく、小中学生部から一般部の塾生全員の努力の成果であり、喜びもひとしおです。コロナ禍による長いトンネルから抜け出し、今年は、書道界も賑わいを取り戻すことでしょう。我が大師塾でも、古典臨書を大切にしながら、二回目の展覧会開催の実現に向けて創作活動に一層力を入れて参る所存です。結びに福島県書道連盟並びに所属される皆様の御健筆をお祈り申し上げます。受賞の御挨拶とさせていただきます。今後とも変わらぬ御指導を賜りますようよろしくお願い致します。

高校生の部 大賞を受賞して

福島県立福島東高等学校

三年 渡 邊 美南海

(福島市)

この度は、福島県書道連盟展において、高校生の部で大賞をいただくことができ、大変嬉しく思います。

私は福島東高校の書道部に入学して「造像記」に出会いました。入学してすぐ、本校二階の踊り場に展示してあった先輩の作品を見たときの感動は今でも鮮明に覚えています。顧問の阿部祐太郎先生の下で、一から造像記を学ばせていただき、疎密や潤濁、造像記の力強い筆法を体に覚え込ませました。自分の実力不足に落ち込む時期もありましたが、高校での学びは自分自身を飛躍的に成長させ、この先の進路をも大きく変えてくれるものでした。

これからは新しい環境で書を学ぶこととなりますが、書道を心から愛する方々と共に学書に励めることに感謝し、更に努力を続けていきたいと思えます。この度は本当にありがとうございます。

学生の部 大賞を受賞して

大東文化大学

一年 先 崎 美 咲

(田村郡小野町)

この度は、福島県書道連盟展におきまして、学生の部で「大賞」をいただき、誠にありがとうございます。これも日頃より熱心に御指導くださる阿部大溪先生、阿部大河先生および大師塾会員の皆様のお力添えがあつての事と深く感謝申し上げます。

高校一年時に、中国楷書古典の美しさに魅了されて以来、先生方の御指導のもと、その楷書美を追求したいという一心で作品制作に取り組んで参りました。書道に取り組むひとときは本当に楽しく、充実しています。

今回は造像記の書風を取り入れた作品を制作しました。始めは上手くいかず壁にぶつかる事もありましたが、重ねての練習の末、力強く激しい運筆を身につけ、迫力と美しさを兼ね備えた作品を完成させることができたのではないかと思います。

結びに福島県書道連盟と皆様の御健筆をお祈り申し上げ、受賞の御挨拶とさせていただきます。

小中学生の部 大賞を受賞して

福島市立御山小学校

四年 五十嵐 葵

この度は、小中学生の部「大賞」をいただくことができ、とてもうれしいです。本当にありがとうございます。

家族が体調をくずし、展覧会を見に行くことができませんでした。残念でしたが、学校を休んでいる間、友達が手紙を届けてくれました。友達の手紙が伝わる文章と文字でした。改めて、「書くこと」の力を感じました。

今回の「明星」には、苦しいことがあっても、心の中では明るくかがやく希望の星をもち続けたいという思いをこめました。なかなか思いどおりに書けません、これからも私の気持ちが変わるような作品を書きたいのでがんばります。

いつも愛情いっぱい教えてくださる書道教室の先生、応援してくださる小学校の先生方、友達、審査をしてくださった福島県書道連盟の先生方、みなさまに心から感謝しています。ありがとうございました。

小中学生の部 大賞を受賞して

福島市立蓬萊中学校

三年 鈴 木 美貴子

この度は、小中学生の部で大賞という大きな賞をくださり、誠にありがとうございます。まさか自分がいただけるとは思っていませんでしたので、驚きと喜びで一杯です。

今回、課題として「黒潮」を書く時に、滑らかさを想像し、波のようになだらかな曲線や温かそうな文字を意識しました。画数が多いため強弱が多く、まだ書き慣れていない感じはありますが、点の部分は良く書けたと思っています。

私は行書があまり得意ではありませんが、苦手な書体でも、最初は上手く書けなかったのが段々と良く書けるようになり、先生にほめられると嬉しくて、書ききった時の達成感を味わうと、また頑張ろうという気持ちになることができます。いつも励まし、教えてくださる先生のおかげだと思っています。一画一画が美しく、誰かに感動してもらえそうな文字を書けるように、高校に進学しても頑張っていきたいと思えます。

令和四年度福島県書道連盟 活動状況報告

福島県書道連盟 会長 菅 野 精 堂（忠信）

「感謝のことば」

「有り難い」……………

感謝したくなる気持ちであることを伝えることば。

「痛み入ります」……………

人から寄せられた好意や親切などに対して、大変申し訳なく思う気持ちを伝えることば。

「恐れ入ります」……………

相手の好意や親切、自分の過ちやいたらなさなどに対して、大変申し訳なく思うときに使うことば。

「恐れ多い」……………

身に過ぎてありがたい、もったいないということば。

「かたじけない（忝い）」……………

感謝にたえない気持ちを伝えることば。

「こころづかい（心遣い）」……………

相手のためを思って、いろいろと気をつかうこと。また、気にかけてくれた方への感謝の気持ちをあらわすときに使うことば。

「お陰様」……………

お世話になった人に感謝の意味を込めることば。

これらはすべて「ありがとう」を大和言葉で表現した、丁寧に感謝を伝える日本のことばです。同じ感謝でも、伝えたい気持ちはその時々で違うものです。大和言葉はやわらかでやさしい言い回しが多いのが特徴です。意識的に取り入れてみることで、ことばの幅や表現が広がり、もっと細やかに思いを伝えたいときに効果があるのではないかと思います。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために令和二年度（第四十四回展）は「誌上展」として行い、昨年度の第四十五回展は感染拡大防止策を講じながら、一般公開展示の形式で成功裡に終了することができました。そして現在、新型コロナウイルス感染症の第七波も徐々に感染者が減少傾向にあるようですが、終息に向けてはまだ時間が必要な状態が続いております。このような現状を踏まえ、今回の第四十六回展も昨年度同様に感染対策には万全を期しながら、公開展示をさせていただくこととなりました。

これも偏に、県内外の書を愛する大勢の方々から出品していただくとともに、福島県、県教育委員会をはじめと

する多くの後援団体様からのご支援のおかげと、心より感謝申し上げます。

私たち福島県書道連盟は、コロナ禍という逆境下の今だからこそ、目の前の困難と向き合い、安全対策を講じて、「新しい生活様式」を模索しながら展覧会の実施を継続することで、地元福島のために微力ではありますが力を尽くして参りたいと考えております。

平成二十三年（二〇一一年）に起きた未曾有の東日本大震災をはじめ、三年目に入るコロナ禍という度重なる試練の中でも、毎年、弛みなく開催し一歩ずつ前進できておりますのも、多くの皆様方のひとかたならぬご理解とご協力のおかげと、重ねて感謝を申し上げます。この「感謝の気持ち」は、冒頭で述べた「ありがとう」を表現した大和言葉の一つひとつに込められています。さまざまな艱難辛苦があり、その都度、多くの方々からさまざまなお心遣いやお力添えをいただいたおかげで、今の県書道連盟があるのだと思います。

ここで上所重助氏の詩を一つ紹介します。

「楽しみ」

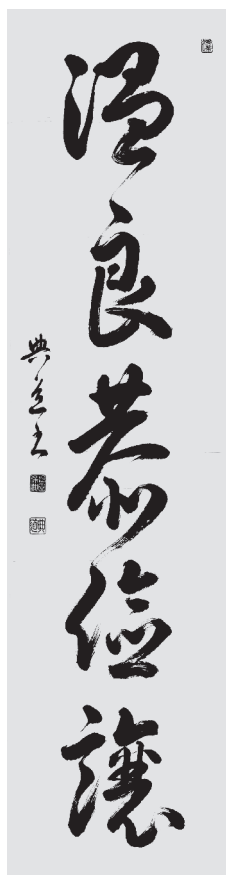
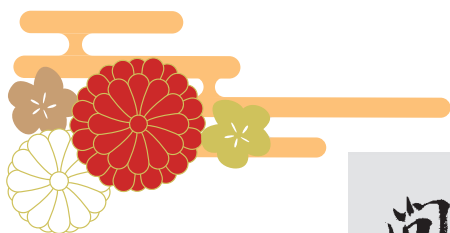
今日を楽しむものは花を届けよ
一年先を楽しむものは花を植えよ
三十年先を楽しむものは木を植えよ
百年をおもんばかるものは人を育てよ

どんなことがあっても続けていくことで「楽しみ（目指すもの）」も大きくなり、それとともに自身も成長していくのではないかと感じます。

※注 大和言葉は日本語を構成する要素で、漢語、外来語に対し、奈良時代以前からあった日本固有の言葉「和語」のこと。

和詞（やまとことば）とも言う。漢字の訓読みが大和言葉に対応する。日本の風土で生まれ、育まれた美しい言葉。





136×35cm

温良恭儉讓

昭和二年生・九十五歳

湯田典道（南会津町）



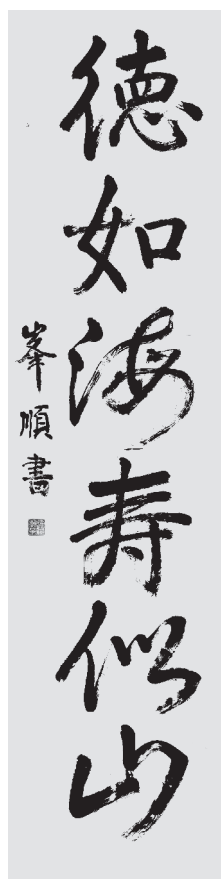
136×35cm

参透禅関話葛藤数
関谷一

参透禅関話

昭和三年生・九十四歳

関谷一（只見町）



136×35cm

峯順書

徳は海の如く

昭和三年生・九十四歳

遠藤峯順（会津若松市）



第46回展 一般の部 審査風景
R4.7.10（於：学法福島高校）



第46回展 一般の部 審査会
R4.7.10（於：学法福島高校）

【学童の部】

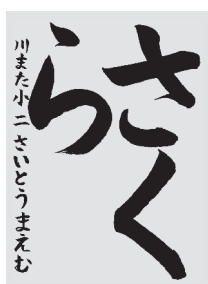
◎大賞

福島市立御山小学校
四年 五十嵐 葵

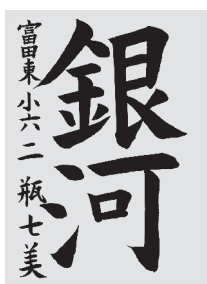


◎準大賞

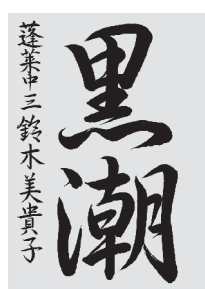
川俣町立川俣小学校
二年 齋 藤 まえむ



郡山市立富田東小学校
六年 二瓶 七美



福島市立蓬萊中学校
三年 鈴木 美貴子



白河市立表郷中学校
一年 薄 井 悠



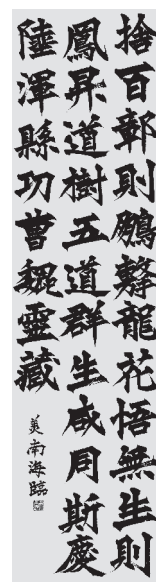
小野町立小野中学校
一年 宗 像 奏 美



【高校生の部】

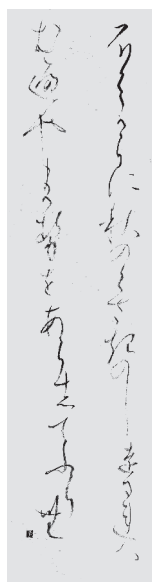
◎大賞 臨

魏靈藏造像記
福島東高校 三年 渡 邊 美南海
(福島市)



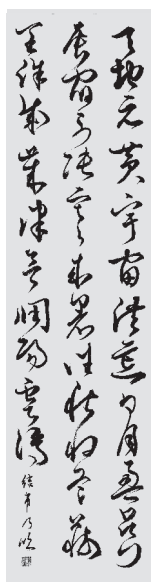
◎準大賞

ふくからに
学法福島高校 二年 坂 本 知 優
(福島市)



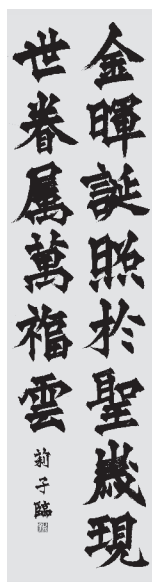
◎準大賞 臨

草書千字文
福島高校 三年 佐 藤 結希乃
(福島市)



◎準大賞 臨

孫秋生劉起祖等造像記
福島東高校 二年 嶋 原 莉 子
(二本松市)



【学生の部】

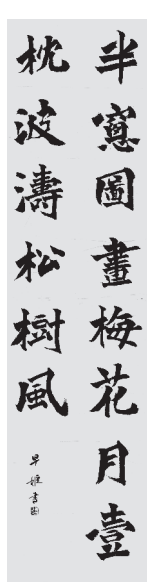
◎大賞 憚壽平詩

大東文化大学 一年 先 崎 美 咲
(小野町)



◎準大賞

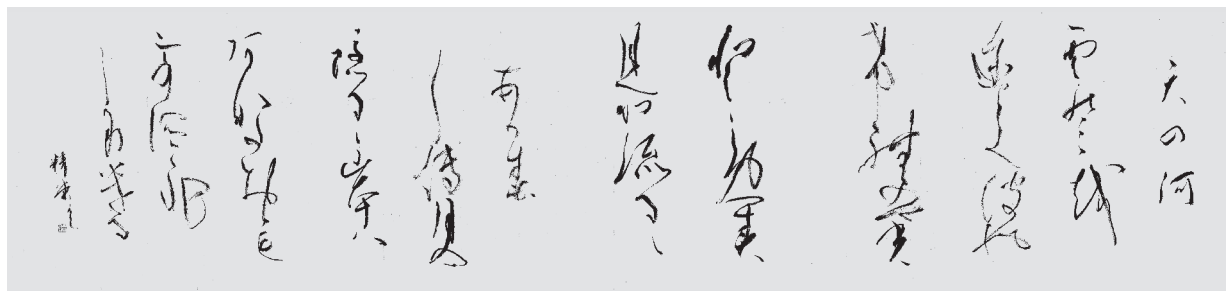
七言二句
日本大学 三年 上 石 早 姫
(三春町)



◎準大賞

千字文一節
福島大学 三年 清 野 里 那
(小野町)





53×228cm

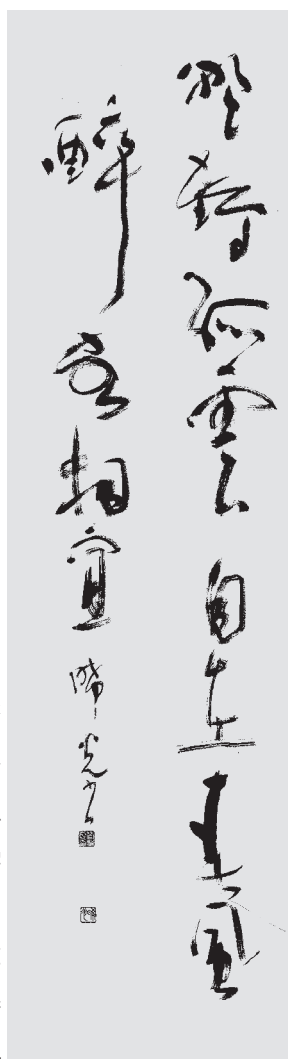
天の河
会 長 菅野精堂
(福島市)

天の河 雲のみをにて はやければ 光とどめず 月ぞ流るる
あかずして 月の隠るる 山本は あなたおもてぞ こひしかりける
(古今和歌集)



136×70cm

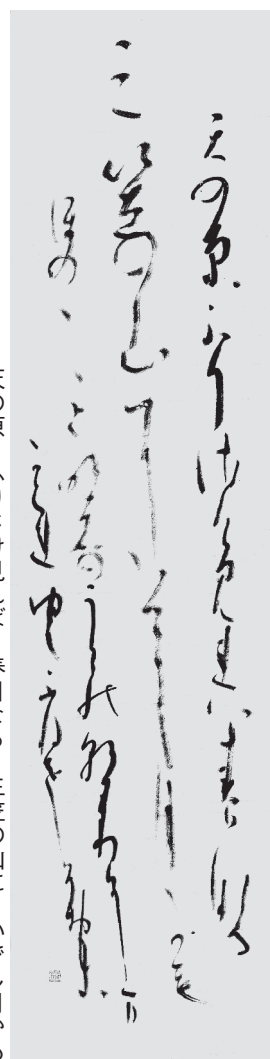
飄逸
総務 二階堂黄岳
(福島市)



136×35cm

野鶴孤雲自在春風
醉客相宜

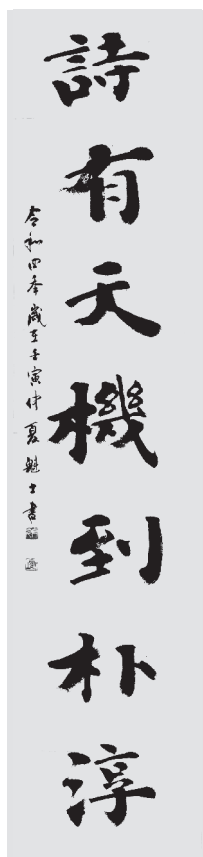
野鶴孤雲自
副会長 菅野晞光
(福島市)



136×35cm

天の原 ふりさけ見れば 春日なる 三笠の山に いでし月かも
ほのぼのと 明石の浦の 朝霧に 島隠れゆく 舟をしぞ思ふ
(古今和歌集)

天の原
会 長 菅野精堂
(福島市)



令和四年歳壬午寅月 魁士書



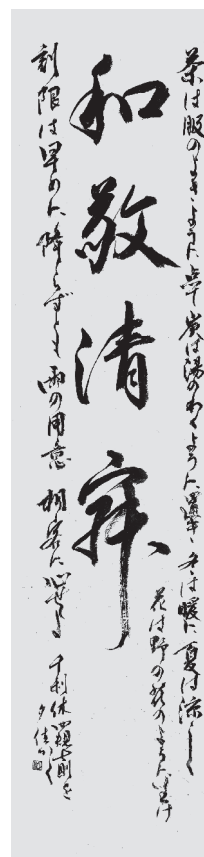
136×31cm

七言二句
常任理事 渡辺魁士
(三春町)



136×35cm

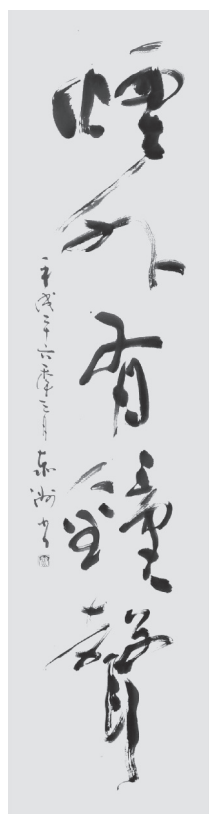
雲龍
理事長 目黒仁舟
(只見町)



景は服のいふより、亭は炭は湯のいふより、茶は喉に夏は涼し、花は野の秋のいふより、月が
制限は早のいふより、雨の用意 相成る心で、子利休親を別を
夕佳町

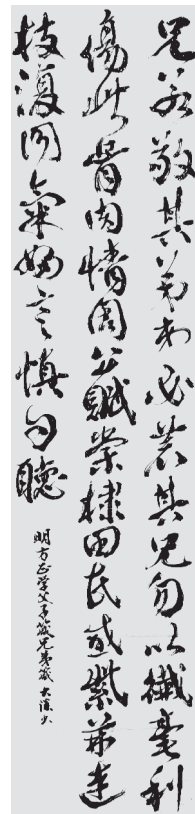
136×34cm

四規七則
副総務 佐藤夕佳
(宮城県柴田郡大河原町)



136×35cm

煙外有鐘聲
客員 菅野泰洲
(福島市)



明方正学兄弟箴一節
阿部大溪

240×60cm

明方正学兄弟箴一節
常任理事 阿部大溪
(小野町)



第46回展 作品搬入 (R4.10.6)



第46回展 会場入り口 R4.10.7~9



第46回展会場 (R4.10.7~9)



第46回展会場 (R4.10.7~9)



目黒仁舟 (會津会) 新理事長の挨拶
R4.7.10 (於: 学法福島高校)



第四十六回福島県書道連盟展

▼会期 令和四年十月七日(金) 九日(日)

▼会場 とうほう・みんなの文化センター (福島県文化センター) 三階展示室

▼表彰式 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

◎一般の部

- ・福島県知事賞 佐藤香月(伊達市)
- ・福島県書連大賞 中村庭哥(福島市)
- ・福島県書連大賞 遠藤溪祥(田村市)
- ・福島県書道連盟賞 飯沼咲華(川俣町)
- ・福島県文化センター館長賞 藤井溪峰(小野町)
- ・福島市長賞 阿部大河(小野町)
- ・福島市教育委員会教育長賞 須田愛泉(福島市)
- ・福島民報社賞 西牧大瑠(小野町)
- ・福島民友新聞社賞 藤井向陽(小野町)
- ・朝日新聞福島総局賞 酒井幽泉(只見町)
- ・読売新聞東京本社福島支局賞 神永溪山(塙町)
- ・毎日新聞福島支局賞 佐藤陽扇(会津若松市)
- ・NHK福島放送局賞 小坂橋京霞(会津若松市)
- ・福島テレビ賞 阿部秋香(福島市)
- ・福島中央テレビ賞 佐藤清紫(福島市)
- ・福島放送賞 佐藤信櫻(川俣町)
- ・テレビユー福島賞 阿曾雅舟(川俣町)
- ・ラジオ福島賞 邊見瑞秋(白河市)
- ・ふくしまFM賞 波呂静植(福島市)

◎学生の部

- ・大賞 先崎美咲 (大東文化大学一年)
- ・準大賞 上石早姫 (日本大学三年)
- ・準大賞 清野里那 (福島大学三年)
- ◎高校生の部
- ・大賞 渡邊美南海 (福島東高校三年)
- ・準大賞 坂本知優 (学法福島高校二年)
- ・準大賞 佐藤結希乃(福島高校三年)
- ・準大賞 嶋原莉子(福島東高校二年)

◎小中学生の部

- ・大賞 五十嵐 葵 (御山小学校四年)
- ・大賞 鈴木美貴子 (蓬萊中学校三年)
- ・準大賞 齋藤まえむ (川俣小学校二年)
- ・準大賞 二瓶七美 (富田東小学校六年)
- ・準大賞 薄井 悠(表郷中学校一年)
- ・準大賞 宗像奏美(小野中学校一年)

◎福寿賞

- ・湯田典道 (昭和二年生・九十五歳・南会津町)
- ・遠藤峯順 (昭和三年生・九十四歳・会津若松市)
- ・関谷 一 (昭和三年生・九十四歳・只見町)

◎最優秀団体賞

- ◎文部科学大臣賞 太陽書道教室 (塙町)
- ◎県書道連盟大賞 後藤教室 (須賀川市)

◎福島市長賞

書道研究会大師塾 (小野町)

◎団体特別賞

- ◎富田東書写研究会 (郡山市)
- ◎いわき市立菊田小学校 (いわき市)
- ◎いわき市立長倉小学校 (いわき市)
- ◎福島大学附属小学校 (福島市)
- ◎矢吹町立矢吹中学校 (矢吹町)
- ◎白河市立東中学校 (白河市)
- ◎福島県立福島高等学校 (福島市)
- ◎福島県立福島東高等学校 (福島市)
- ◎学校法人松韻学園福島高等学校 (福島市)

◎硯心書道会

(福島市)

◎會津会

(会津若松市)

◎五十嵐書道教室

(南会津町)

◎心雅書道会

(福島市)

◎西丸書道教室

(古殿町)

◎佐藤書道教室

(白河市)

◎優秀団体賞

- ◎高橋書道教室 (福島市)
- ◎水口書道会 (川俣町)
- ◎池田書道教室 (喜多方市)
- ◎小松山書道教室 (喜多方市)
- ◎若菜書道教室 (福島市)
- ◎魁士書院 (三春町)
- ◎木村書道教室 (喜多方市)
- ◎紫雪書道教室 (福島市)
- ◎松浦書道教室 (国見町)
- ◎大橋書道塾 (福島市)
- ◎梓風書道教室 (福島市)
- ◎みずほ書道教室 (伊達市)
- ◎黄雅書道会 (福島市)
- ◎愛泉書道教室 (福島市)



第46回展 小中学生の部審査会
R4.7.3 (於：とうほう・みんなの文化センター)



第46回展 小中学生の部審査会
R4.7.3 (於：とうほう・みんなの文化センター)



第46回展 高校生の部 審査会
R4.7.3 (於：とうほう・みんなの文化センター)